

リビング階段 施工説明書

施工説明書

施工業者様用

P1～P8

取扱説明書

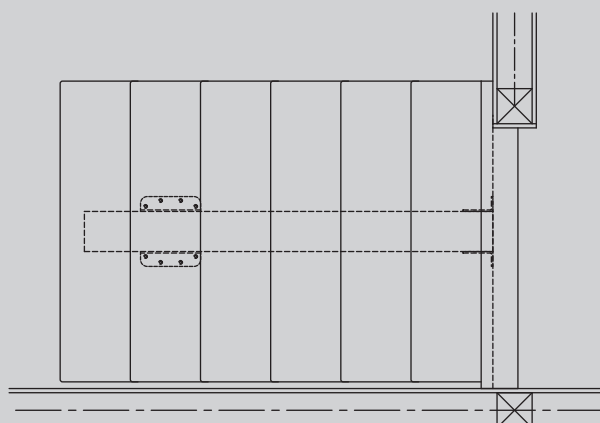
お施主様用

P9

「施工業者様へのお願い」

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、お施主様に手渡ししていただきますようお願いします。

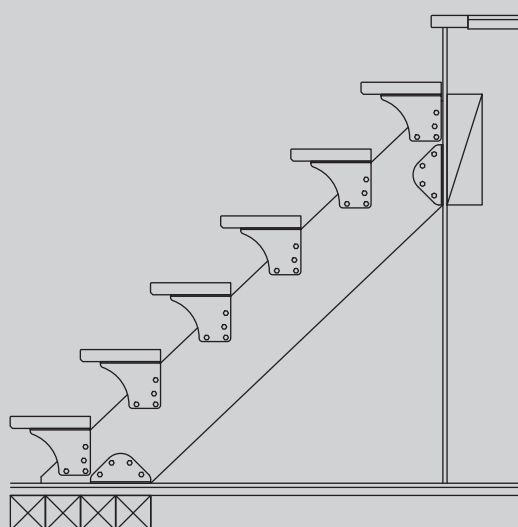
(取扱説明書は弊社 HP <https://www.daiken.jp/qr/manual/> よりダウンロードも可能です)



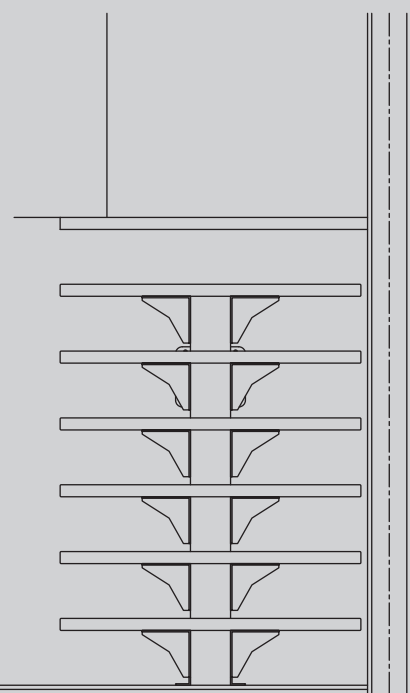
階段平面図

■施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドリル(手回しドライバー)
- コンベックス等測定機器
- 水準器
- 下げ振り



階段断面図



階段正面図

安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

リビング階段を長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下の事を必ずお守りください。

警告表示の種類と内容

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
---	-------------	---	----------------	---	----------------------

施工上のご注意

- ❗ 桁材、踏板等の取付は、ぐらつきや脱落のないようしっかり固定してください。

嵌合が緩かったり、踏板の差込み寸法が少なかったり、釘・ビス等での固定が確実にされていないと踏板が脱落する恐れがあり危険です。



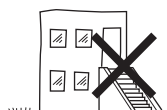
- ❗ 階段部材・手摺部材はぐらつきのないよう、しっかりと躯体に固定してください。

階段・手摺がぐらつくと、バランスを崩しケガをする恐れがあります。



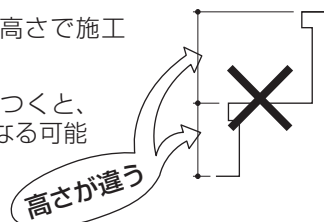
- ⊘ 業務用途や屋外に施工しないでください。

本製品は一般家庭の屋内向けに設計されています。業務用途や屋外、浴室等に使用すると製品強度が落ち、破損等によりケガをする恐れがあります。



- ❗ 建築基準法から外れた施工をしないでください。蹴上げ寸法は一定高さと施工してください。

蹴上げ寸法がバラつくと、つまづきの原因となる可能性があります。



- ❗ 当製品は木製品ですので、ヒラタキクイムシ等の飛来、進入により虫害が発生する恐れがあります。虫害が進行しますと、製品強度の低下による脱落、ケガに繋がる恐れもありますので、虫害を発見された場合は、専門の業者に問合せ頂き、専用薬剤を注入する等の適切な処置を取ってくださるようお願いいたします。



- ⊘ ワックスがけはしないでください。ワックスがけをすると滑りやすくなり、ケガをする恐れがあります。

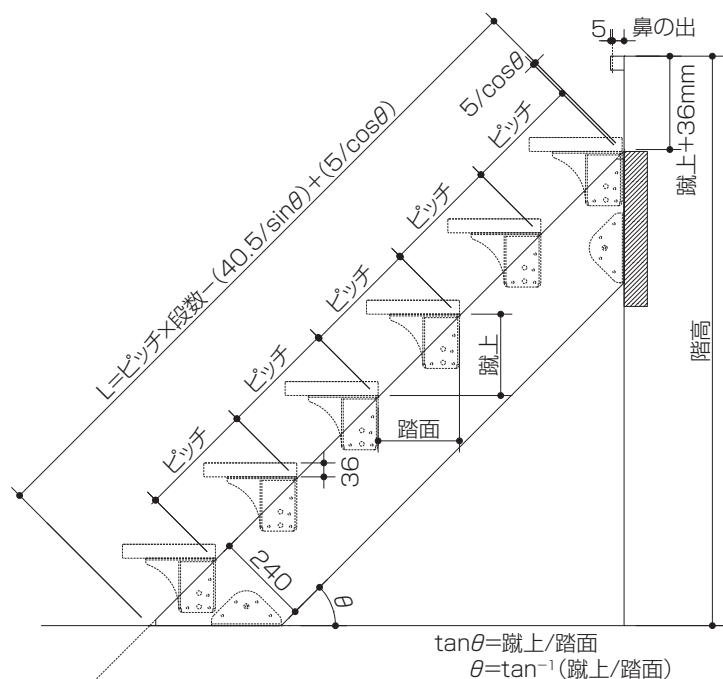


- ❗ ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、ケガや破損のおそれがあります。

使用上のご注意

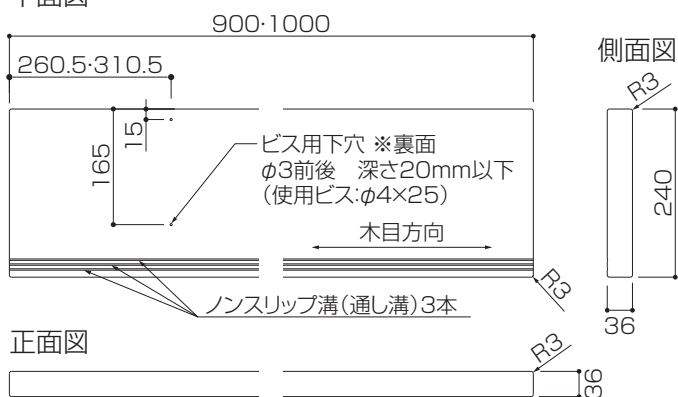
- 階段の端部で飛び跳ねたり、過度な衝撃や荷重を加えたりしないでください。
- 本製品は桁の固定が上下2箇所のため、段数が多くなると若干の揺れを感じる場合があります。
- 桁は構造用赤松集成材を使用しているため、節などによる表面の凹凸があります。また、経時変化により割れが発生したり、ヤニが出てくる場合がありますが、階段の強度に影響はありません。
- 転落の危険がありますので、壁が無い側には必ずオープンアルミ手摺（別売）を取り付けてください。
- 製品を廃棄する際は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および地方自治体の規則に基づいて適切に処理してください。

納まり図



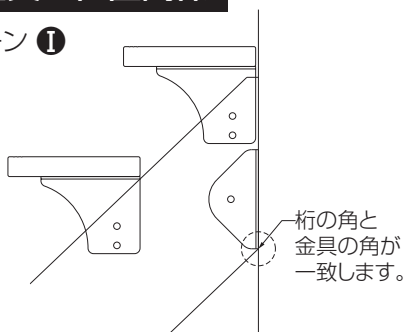
リビング階段露出踏板

平面図

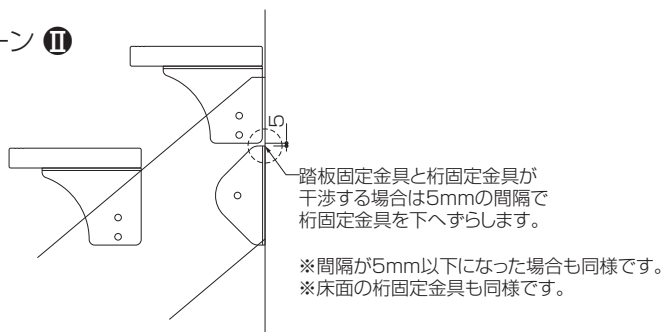


桁と金具の位置関係

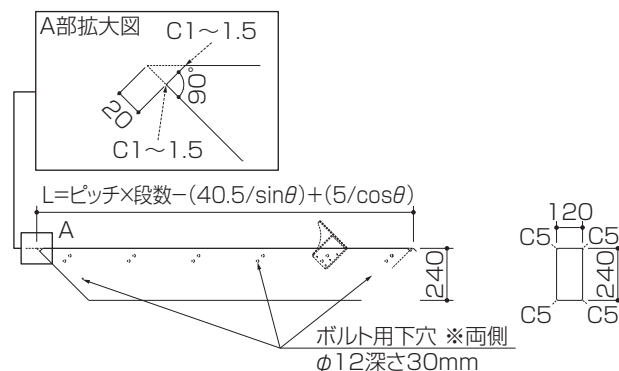
パターンⅠ



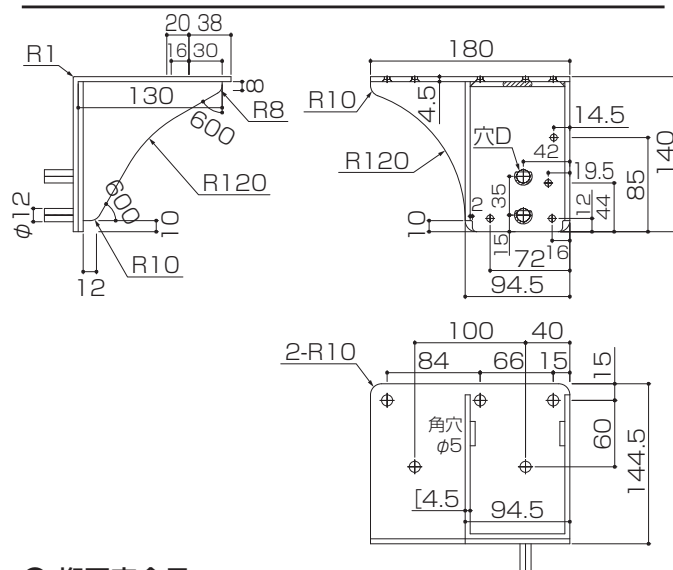
パターンⅡ



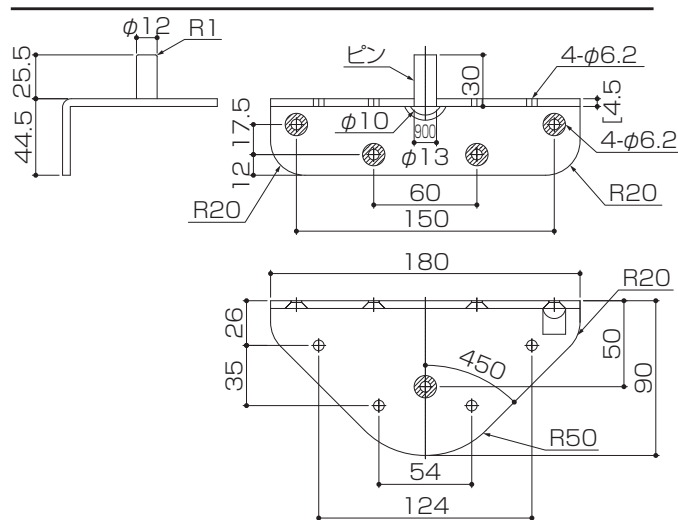
リビング階段桁材



踏板固定金具



桁固定金具



施工上のご注意

●必ず同梱のねじをご使用ください。

⚠重要

●コーチスクリュー、ねじは必ず下穴をあけてから締め付けてください。下穴はねじ径の80%程度を目安としてください。(※下穴の目安 $\phi 6$ の場合4.5mm程度、 $\phi 4$ の場合3mm程度)

●施工時に、インパクトドライバーを用いるとコーチスクリュー、ねじの塗装が剥がれる恐れがあります。必ず電動ドライバーを使用してください。もし塗装が剥がれた際には、同梱の補修塗料で補修してください。

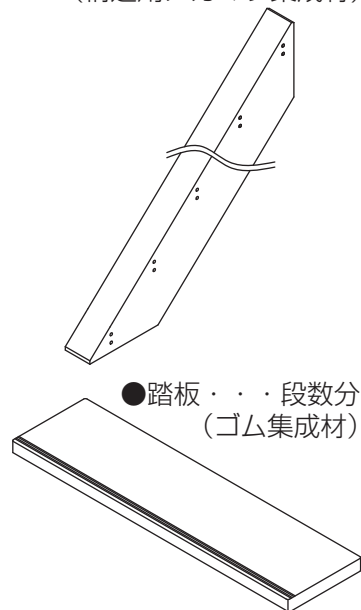
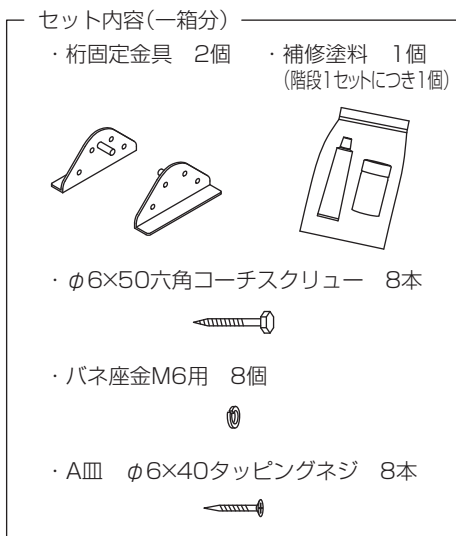
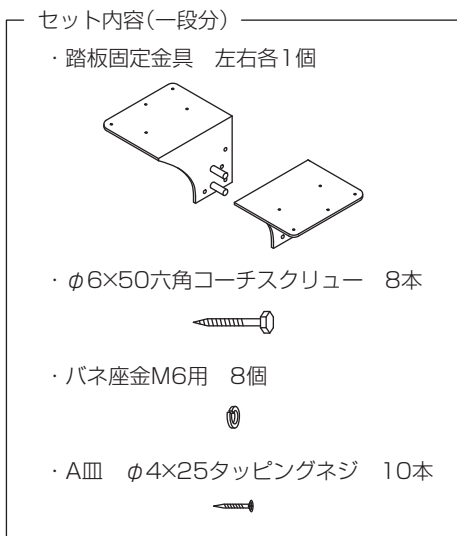
●金具はリビング階段専用です。リビング階段以外には使用しないでください。

■部品一覧

●踏板固定金具1段分セット・・・段数分

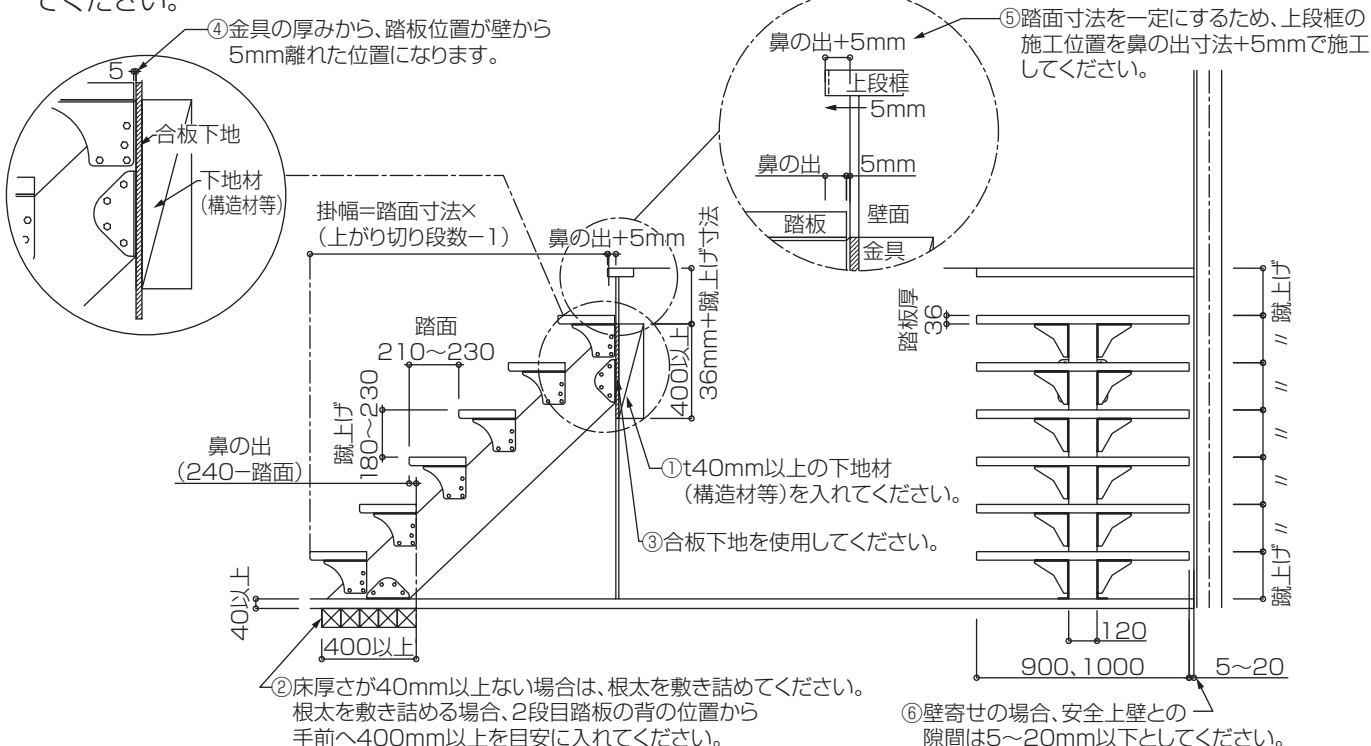
●桁固定金具2個入りセット・・・2箱

●桁材・・・1本
(構造用アカマツ集成材)



施工前の準備

- ①壁、床には金具を取り付けるための下地材(構造材等)を必ず事前に入れておいてください。
- ②桁が床に接する部分の直下に、基礎や束を設けて荷重を受けるようにして下さい。
- ③桁が壁に接する部分は合板下地を使用してください。下地材が石膏ボードの場合、表面が凹む可能性があります。
- ④桁-梁固定金具形状の関係で、一番上の踏板位置は、壁から裏木口が5mm離れた位置となります。
- ⑤④より、上段框の位置は壁面から鼻の出をさらに+5mm延ばして施工してください。
- ⑥必ず手摺部材と組み合わせて施工してください。片側壁寄せとする場合、壁と踏板端部の隙間は20mm以下にしてください。

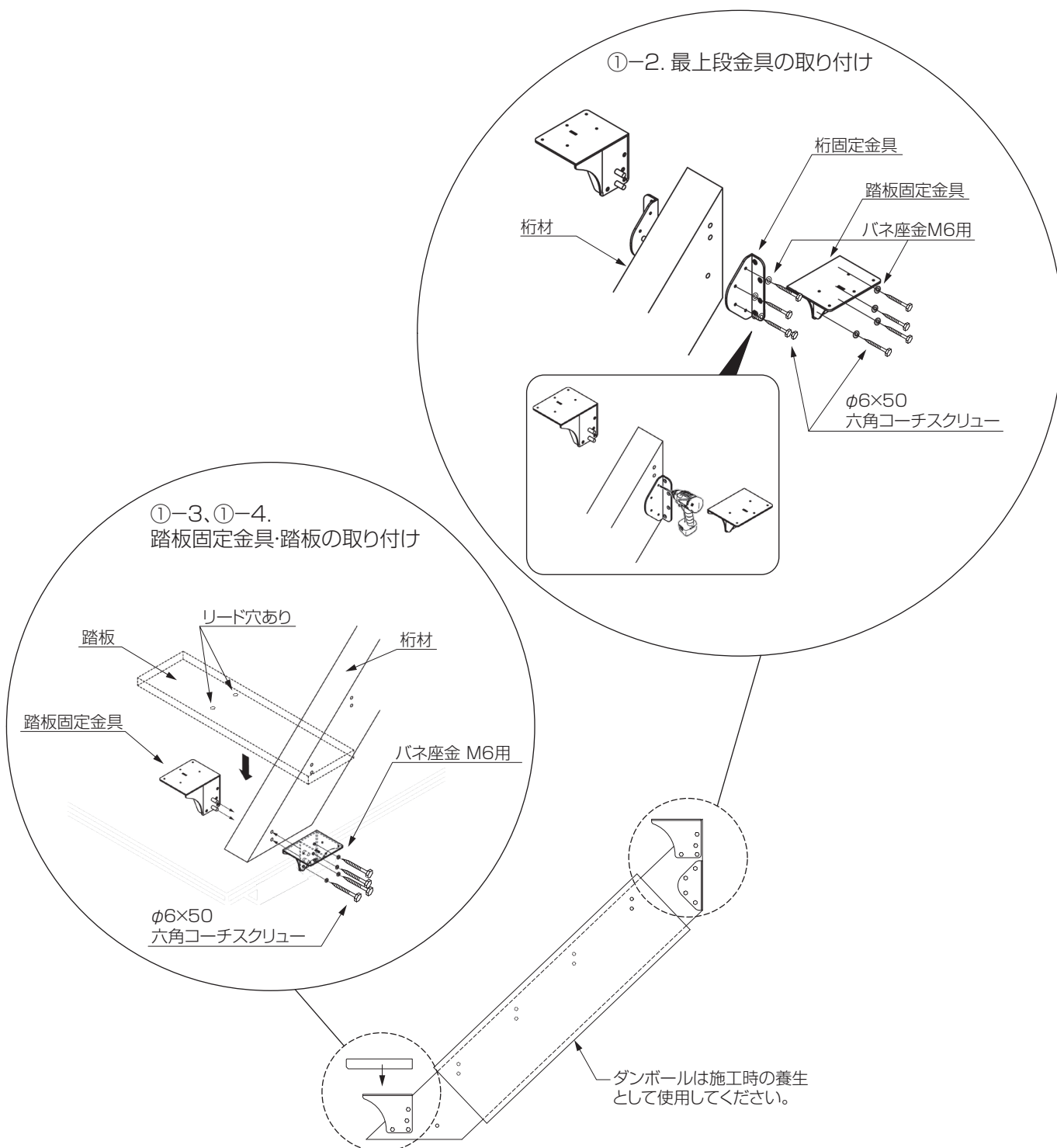


施工手順① 初段踏板の取り付け

1. 桁の取り付け前に、梱包材は上下部分だけ外し、中央部分は踏板固定金具を取り付けるまでの養生として使用してください。
2. 桁の上下を確認し、最上段に踏板固定金具と桁固定金具を取り付けてください。
金具のピンを桁の穴に差し込んでから下穴をあけ、六角コーチスクリューで固定してください。
- ※ 露出踏板及び踏板固定金具の取り付けにあたり、施工時に水準器で水平・垂直を確認いただき施工をお願いいたします。詳細はP5～P6「踏板の水平・垂直出し方法」を参照ください。
3. 初段に踏板固定金具を、下穴をあけ、六角コーチスクリューで取り付けてください。

⚠ 重要

4. その後、踏板を固定する位置を確認し、下穴をあけ、 $\phi 4$ タッピングネジを裏から打ち込んで固定してください。
固定する位置は踏板裏面にあるリード穴(2ヶ所)を参考にして、金具と踏板の背を合わせるようにしてください。
- ※ 初段踏板固定前に桁を固定してしまうと、初段踏板の固定が困難となります。



■ 踏板の水平・垂直出し方法

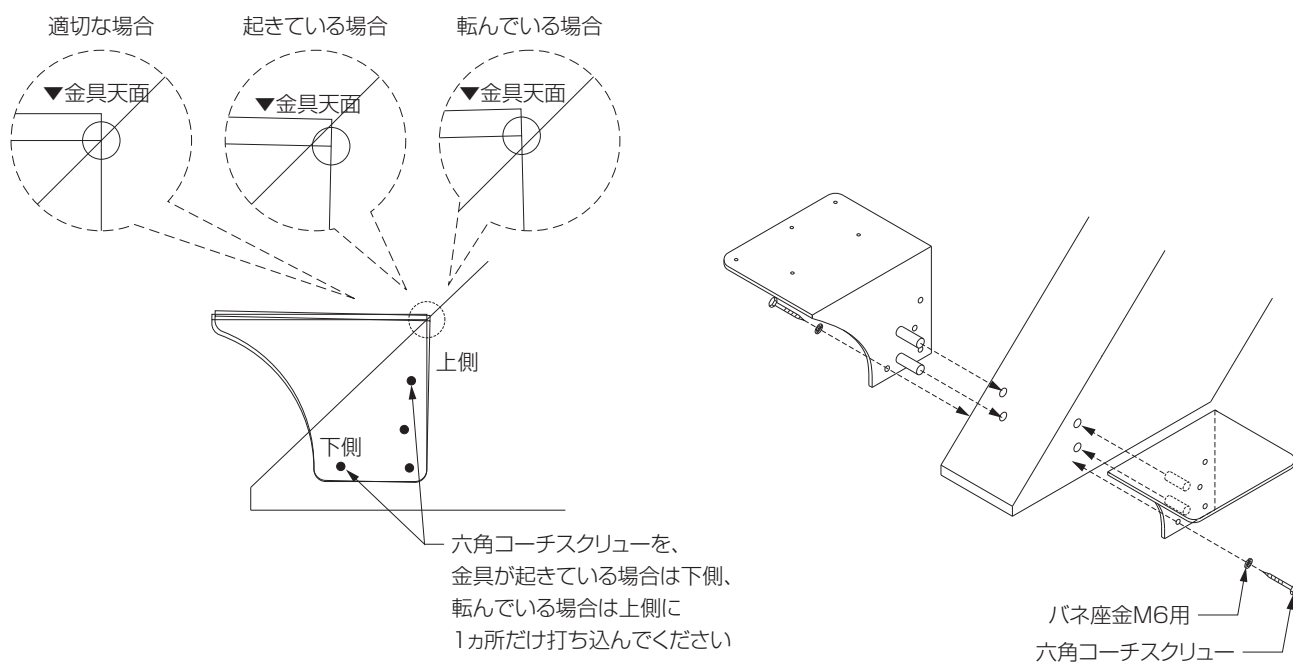
リビング階段露出踏板および踏板固定金具の取り付けにあたり、施工時に水平・垂直を確認いただき施工をお願いいたします。

踏板固定金具は製品の仕様上及び、環境変化による伸縮等の要因により、左右で僅かにずれが生じる場合があります。

ずれが確認された場合は下図に示す手順で調整してください。 **⚠ 重要**

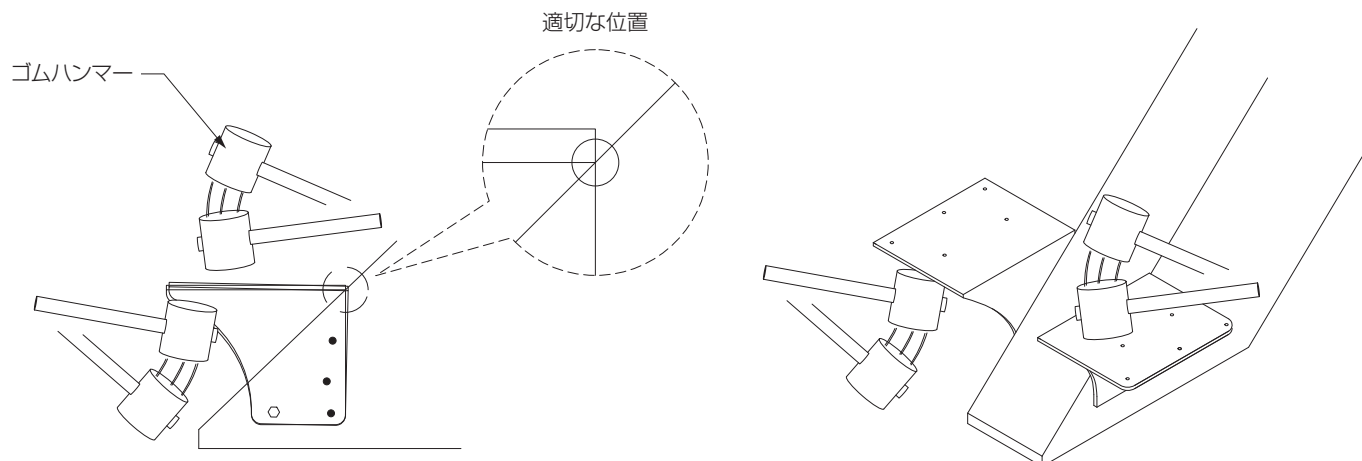
1. 金具のピンを桁の穴に挿し込んでから、左右の金具の位置を確認してください。
金具が「起きている」「転んでいる」いずれか側にずれている場合には、下図を参照に六角コーチスクリューを1ヵ所だけ打ち込んでください。

1. 左右の金具位置を確認して、コーチスクリューを1ヵ所だけ打って、金具を仮固定させてください。



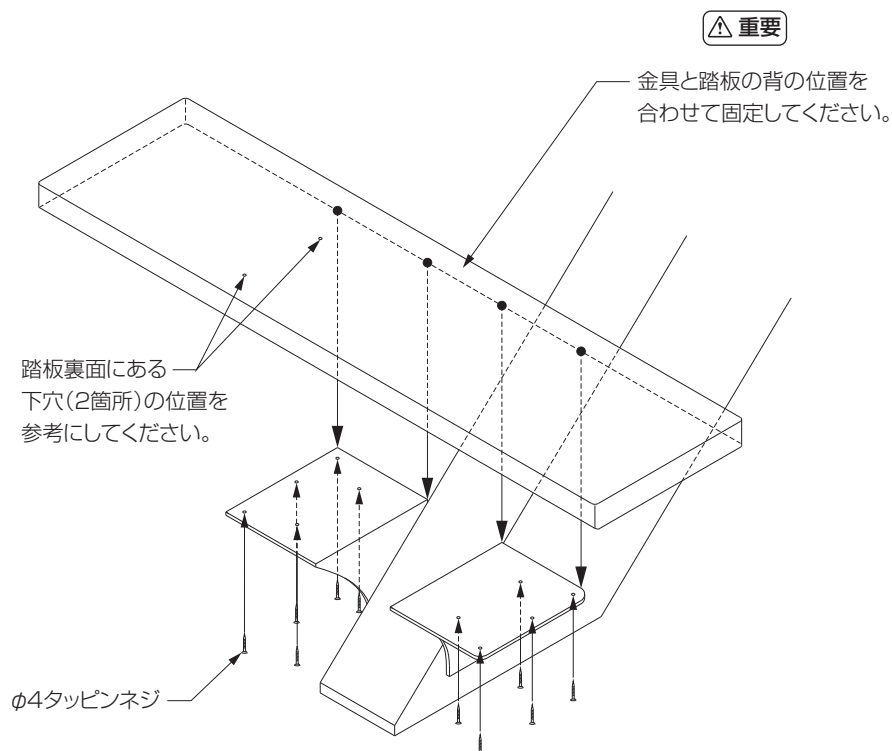
2. ゴムハンマー等を使用して左右の金具の位置を調整してください。

2. ゴムハンマー等を使って金具が正常な位置になるように位置調整してください。



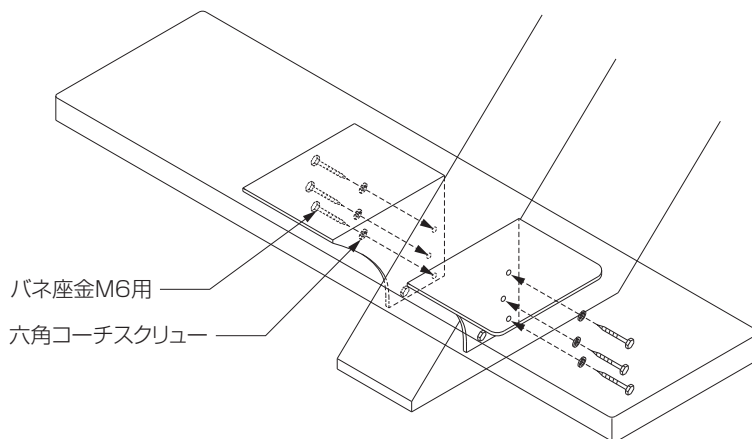
3. 金具の水平を確認した後、踏板を取り付けてください。踏板を固定する位置を確認し、 $\phi 4$ タッピンネジを裏から打ち込んで固定してください。

3. 金具に踏板を取り付けてください。



4. 踏板の水平を確認し、六角コーチスクリューで踏板固定金具を固定してください。

4. 水平を確認しながら残りのコーチスクリューを打って金具を固定してください。
※桁を設置後に行ってください。



※図は初段の露出踏板を図示しております。
他段も同じ手順で踏板を取り付けてください。

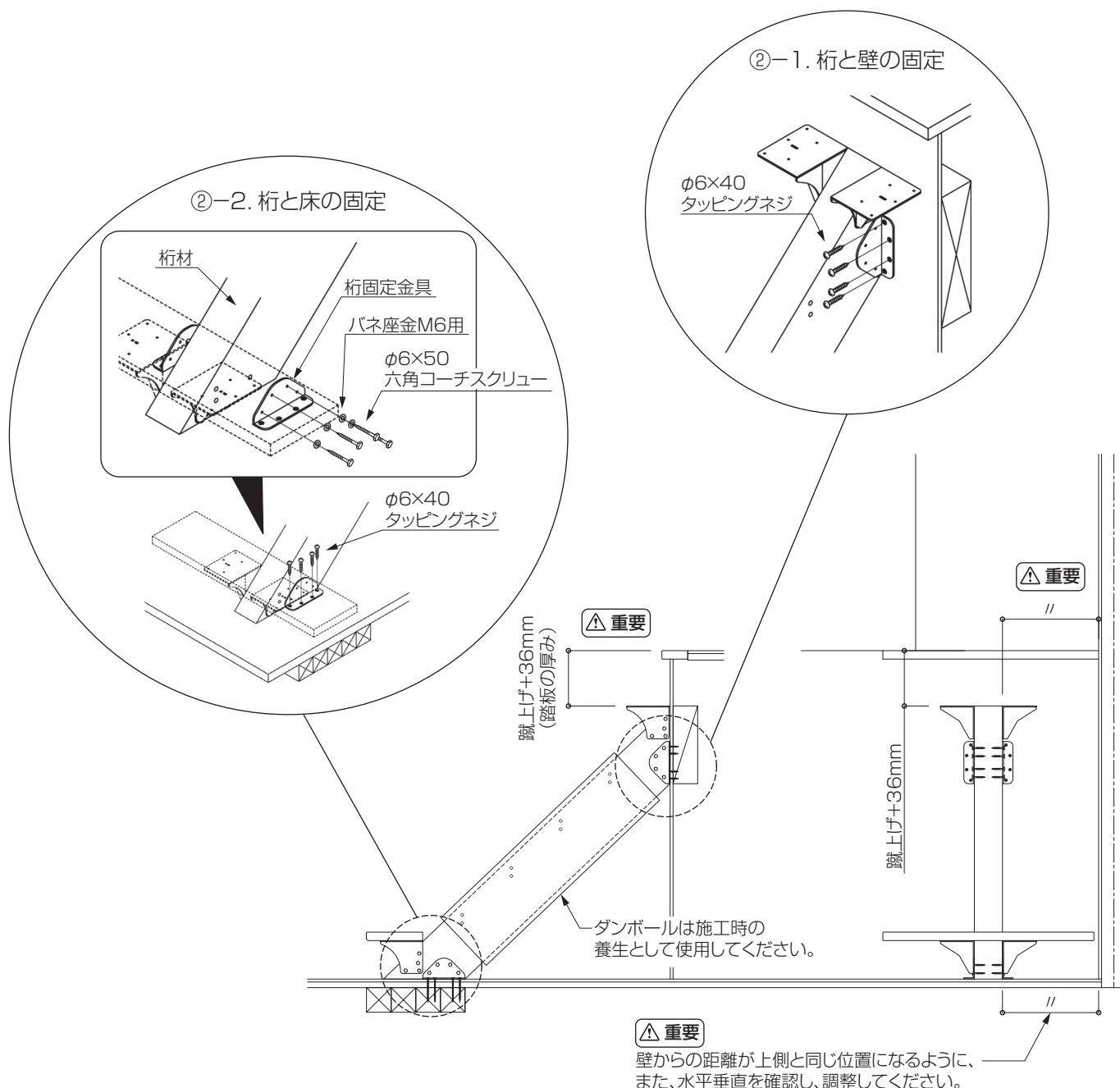
施工手順② 桁の取り付け

⚠ 重要

1. 重量に注意し、桁と壁を、下穴をあけ、 $\phi 6 \times 40$ タッピングネジで固定してください。
最上段の踏板固定金具から次の段までの高さが「蹴上げ寸法+36mm(踏板的厚み)」となるように高さを調整してください。この時水平器等で水平を確認してください。

⚠ 重要

2. 下側の桁固定金具を取り付けてください。
壁からの距離が上側と同じ位置になるように、また、水平垂直を確認し、調整してください。



施工手順③ 踏板固定金具の取り付け

1. 養生のダンボールをはずし、初段以外の踏板固定金具を取り付けてください。

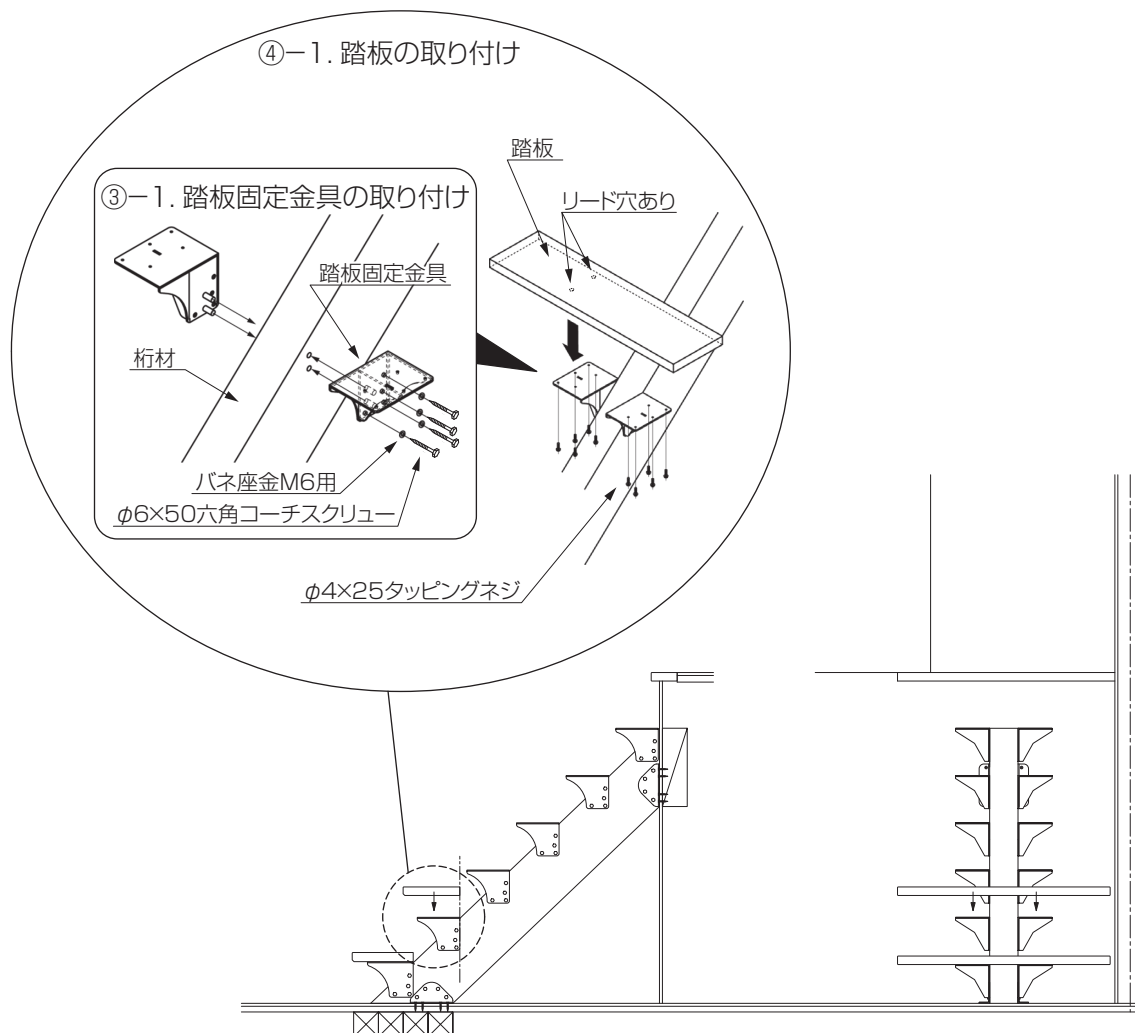
※ 露出踏板及び踏板固定金具の取り付けにあたり、施工時に水準器で水平・垂直を確認いただき施工をお願いいたします。詳細はP5～P6「踏板的水平・垂直出し方法」を参照ください。

施工手順④ 踏板の取り付け

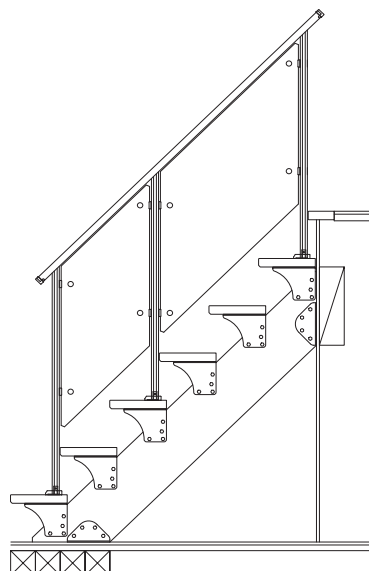
⚠ 重要

1. 踏板を固定する位置を確認し、下穴をあけ、 $\phi 4$ タッピングネジを裏から打ち込んで固定してください。
固定する位置は踏板裏面にあるリード穴(2ヶ所)を参考にして、金具と踏板の背を合わせるようにしてください。
- ※ 露出踏板及び踏板固定金具の取り付けにあたり、施工時に水準器で水平・垂直を確認いただき施工をお願いいたします。詳細はP5～P6「踏板の水平・垂直出し方法」を参照ください。

④-1. 踏板の取り付け



- ※ 1. ねじは強固に締め付け、ガタつきが無いか確認してください。
※ 2. 金具の固定が不十分な状態での昇降はしないでください。



※ 本製品の手摺には、別売の「階段部材オプション品オープンアルミタイプ」をご使用ください。

点 検

嵌合の緩いところはないか確認してください。

踏板上にキシミ音がないか確認してください。

嵌合が緩かったり、ビスの打ち込みがゆるいとキシミ音が発生することがあります。

養 生

施工完了後は、踏板の表面に傷つかないように吸ホル養生ボード、養生テープ等を用いて養生してください。
(ダイケン吸ホル養生ボード専用テープB (YQ3203) 推奨)

粘着力の強いテープを用いた場合、塗膜やシートの剥離等が発生する場合がありますので、当社では責任を負いかねます。

⚠ 注意 養生テープをはがす際はゆっくりと剥がしてください。テープを急に剥がすと、塗膜やシートが剥がれる可能性があります。

無塗装の塗装仕上げ

- ・ 階段部材は工場でサンダー仕上げをしていますが、吸放湿等にて微細な毛羽立ち等発生していることがありますので、塗装前に#320サンドペーパーでサンダーがけをしていただくとより美しい仕上がりが得られます。
- ・ 塗装は施工中のゴミや汚れを落としてから、F☆☆☆☆対応ポリウレタン樹脂塗料等の環境・健康に配慮した塗料をご使用して行ってください。
- ・ 施工後の吸放湿による反り・寸法変化等を防止するため、必ず裏面にも塗装を行ってください。
- ・ 水漏れは変色、シミ、反りなどの原因になり、また表面に凸凹が発生しますからご注意ください。
- ・ 部分的な乾燥や加熱及び吸湿も反りなどの原因となりますからご注意ください。

お手入れの方法

- お手入れは、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジンなどを使用すると表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので避けてください。
- ワックスがけはしないでください。

⚠ 注意 ワックスがけをするとすべりやすくなりケガをする恐れがあります。



製品の構成とホルムアルデヒド発散区分 (住宅部品表示ガイドラインによる)

リビング階段	F☆☆☆☆
--------	-------

	構 成 部 位		表 面 材 料	発 散 区 分	備 考
リビング階段	内 装 仕 上 部 分	①踏板	集成材	規制対象外(F☆☆☆☆)	国土交通省 大臣認定：MFN-0135
	規制対象外部位	②桁材	集成材	規制対象外部位	規制対象外(F☆☆☆☆)同等品質材料を使用

DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス
<https://www.daiken.jp/>

製品のお問い合わせ・ご相談は ☎0120-787-505
受付時間：平日9:00～17:00 (土・日・祝・年末年始・お盆は休み)